

様式 1（G-MIS様式）

事業報告書				
医療法人整理番号		01800		
報告期間	自	令和5年7月1日		
	至	令和6年6月30日		
1 事業報告書の概要				
(1) 名称	分類①	医療法人葵鐘会	分類①から③のそれぞれの項目（③は社団のみ。）について、該当するものをリストから選択すること。（会計年度内に変更があった場合は変更後。）	
	分類②	社団（出資持分なし）		
	分類③	その他		
	基金制度採用			
	(2) 事務所の所在地	都道府県	愛知県	複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
		市区町村	稲沢市小池	
		町名・番地	四丁目122番地	
		建物名		
		従たる事務所の記載はこちら		
	(3) 設立認可年月日	平成19年12月6日		
	(4) 設立登記年月日	平成19年12月10日		
	(5) 理事長の氏名	姓	山下	
名		守		
役員及び評議員の人数		38	理事長を含む人数を記載すること。	
役員及び評議員		記載はこちら		
2 事業の概要				
(1-1)	本来業務（病院、診療所）	記載はこちら		
(1-2)	本来業務（介護老人保健施設、介護医療院）	記載はこちら		
(2)	附帯業務	記載はこちら		
(3)	収益業務	記載はこちら		
(4)	当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	記載はこちら		
(5)	当該会計年度内に発行した医療機関債	記載はこちら	(5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。	
(6)	当該会計年度内に購入した医療機関債	記載はこちら		
(7)	当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設	記載はこちら		
(8)	当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	記載はこちら	全ての指定内容について記載しても差し支えない。	
(9)	その他	記載はこちら	当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）	

様式 1 : 1-(2) (G-MIS様式)

[illegible]

事業報告書

2-(1) 本来業務

(開設する病院、診療所（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

[illegible]

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。

3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

事業報告書			
1-(5) 役員及び評議員			
役職	姓	名	備考
理事	山下	守	理事長
理事	加藤	三紀彦	
理事	野村	誠二	セブンベルクリニック管理者
理事	三井	崇	ローズベルクリニック管理者
理事	加藤	誠	グリーンベルクリニック管理者
理事	石松	志乃	
理事	吉田	憲生	エンジェルベルホスピタル管理者
理事	山口	昌章	アルプスベルクリニック管理者
理事	柿坂	宜孝	ロイヤルベルクリニック管理者
理事	丹羽	慶光	
理事	村上	聡	フォレストベルクリニック管理者
理事	刈谷	方俊	パークベルクリニック管理者
理事	河井	通泰	リバーベルクリニック管理者
理事	上野	有生	キャッスルベルクリニック管理者
理事	丸山	春子	フェアリーベルクリニック管理者
理事	杉浦	正彦	オレンジベルクリニック管理者
理事	堀尾	潤	ビーチベルクリニック管理者
理事	高沢	義信	アイリスベルクリニック管理者
理事	柳瀬	陽一郎	
理事	吉田	茂	
理事	早川	星朗	プリズムベルクリニック管理者
理事	伊藤	則雄	
理事	古橋	円	
理事	板倉	孝彦	
理事	塚本	裕久	
理事	前田	洋一	
理事	山田	真由美	
理事	鈴木	恭輔	
理事	廣川	雅	
理事	原	信	
理事	安永	耕介	
理事	木下	明美	
理事	東	鉄兵	
理事	飯沼	由朗	
理事	廣澤	友也	
理事	竹内	清剛	
理事	永友	一成	
監事	竜嶽	一己	

- 注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第 4 6 条の 5 第 6 項参照）
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。（医療法第 4 6 条の 4 第 1 項参照）

事業報告書

2-(1) 本来業務

(介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

[illegible]

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

様式 1 : 2-(2) (G-MIS様式)

[illegible]

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を委託管理の欄に記載すること。

事業報告書

2-(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

[illegible]

様式 1 : 2-(4)-(9) (G-MIS様式)

事業報告書	
2-(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	
日付	議決又は同意した事項
令和5年9月20日	社員総会議事録 ①第16期決算承認の件
令和5年10月20日	理事会議事録 ①三井住友銀行からの特殊当座借越契約締結の件
令和5年10月20日	社員総会議事録 ①三井住友銀行からの特殊当座借越契約締結の件、②議事録署名人選出の件
令和5年12月20日	社員総会議事録 ①理事選任の件、②管理者変更の件（アイリスベルクリニック）
令和6年1月9日	社員総会議事録 ①理事定数の件、②議事録署名人の件
令和6年1月25日	理事会議事録 ①株式会社りそな銀行からの金銭消費貸借契約締結の件
令和6年1月25日	社員総会議事録 ①株式会社りそな銀行からの金銭消費貸借契約締結の件
令和6年3月1日	社員総会議事録 ①理事選任の件
令和6年3月19日	社員総会議事録 ①理事選任の件、②管理者変更の件（グリーンベルクリニック）
令和6年6月19日	社員総会議事録 ①18期予算の件
注）2-(5)、2-(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。	

2-(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

発行総額	申込期間（開始日）	利率	資金使途	償還方法	医療機関債を引き受けた医療法人名
申込単位	申込期間（終了日）	払込期日		償還期限	
注）医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。 医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。					

2-(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債				
医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由				
医療機関債名	発行元医療法人名	購入総額	償還期間（開始日～終了日）	
注)				
1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。				
2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。				

2-(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

[illegible]

2-(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	
日付	他の法律、通知等において指定された内容
注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。	

法人名 医療法人葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

※医療法人整理番号 01800

貸借対照表
令和6年6月30日 現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	2,217,988	I 流動負債	2,529,823
現金及び預金	140,865	支払手形	
事業未収金	1,387,510	買掛金	369,436
有価証券		短期借入金	1,321,008
たな卸資産	114,620	未払金	111,103
前渡金	5,000	未払費用	472,078
前払費用	64,532	未払法人税等	82,136
その他の流動資産	505,459	未払消費税等	
		前受金	
		預り金	69,080
		前受収益	
		その他引当金	
		その他の流動負債	104,979
II 固定資産	4,586,092		
1 有形固定資産	3,531,208	II 固定負債	3,759,865
建物	2,875,779	医療機関債	
構築物	66,371	長期借入金	3,596,887
医療用器械備品	62,314	繰延税金負債	
その他の器械備品	43,095	その他引当金	
車両及び船舶	0	その他の固定負債	162,978
土地	483,646		
建設仮勘定			
その他の有形固定資産			
2 無形固定資産	17,472	負債合計	6,289,688
借地権		純資産の部	
ソフトウェア	9,979	科目	金額
その他の無形固定資産	7,493	I 基金	71,900
3 その他の資産	1,037,411	II 積立金	442,491
有価証券		代替基金	
長期貸付金	627,740	繰越利益積立金	442,491
保有医療機関債		その他積立金	
その他長期貸付金	627,740		
役職員等長期貸付金			
長期前払費用	7,902	III 評価・換算差額等	
繰延税金資産	230,085	その他有価証券評価差額金	
その他の固定資産	171,683	繰延ヘッジ損益	
		純資産合計	514,392
資産合計	6,804,081	負債・純資産合計	6,804,081

(注) 1. 表中の固定された勘定科目については、変更しないこと。

2. 表中の選択可能な勘定科目については、プルダウンにより適切な勘定科目を選択すること。

リストにない勘定科目がある場合は、原則リスト中の「その他〇〇」を選択すること。

様式 4 - 1 (G-MIS様式)

法人名 医療法人葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

医療法人整理番号	01800
----------	-------

損 益 計 算 書
自 令和5年7月1日 至 令和6年6月30日

(単位：千円)

科目		金 額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			10,416,591
2 事業費用			
(1) 事業費	8,835,107		
(2) 本部費	1,463,110		10,298,217
本来業務事業利益			118,374
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			
2 事業費用			
附帯業務事業利益			0
C 収益業務事業損益			
1 事業収益			
2 事業費用			
収益業務事業利益			0
事業利益			118,374
II 事業外収益			
受取利息	2,970		
その他の事業外収益	68,512		71,482
III 事業外費用			
支払利息	71,988		
その他の事業外費用	1,818		73,806
経常利益			116,050
IV 特別利益			
固定資産売却益			
その他の特別利益	20		20
V 特別損失			
固定資産売却損	263		
その他の特別損失			263
税引前当期純利益			115,807
法人税・住民税及び事業税	106,557		
法人税等調整額	4,516		111,073
当期純利益			4,734

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること（自動表示）。
2. 表中の勘定科目については、変更しないこと。
3. 表中の選択可能な勘定科目については、プルダウンにより適切な勘定科目を選択すること。
リストにない勘定科目がある場合は、リスト中の「その他〇〇」を選択すること。

様式5

法人名 医療法人葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

※医療法人整理番号	1800
-----------	------

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	山下 守	医師	当法人理事長	個人事業等の運 営資金	434,747	立替金	475,906

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人葵鐘会

理事長 山下 守 殿

私（注1）は、医療法人葵鐘会の令和5会計年度（令和5年7月1日から令和6年6月30日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和6年9月/7日
医療法人葵鐘会
監事 竜嶽 一己

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

最終仕入原価法

2 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

建物（建物附属設備を除く）は定額法、建物以外については定率法によっております。但し、平成 28 年 4 月以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

建物 8 年～29 年

構築物 2 年～55 年

医療用器械備品 3 年～8 年

その他の器械備品 4 年～15 年

車両及び船舶 4 年～6 年

②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。但し、ソフトウェア（法人内使用分）については、法人内における利用可能期間（5 年）に基づく定額法によっております。

③長期前払費用

定額法によっております。

3 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法における貸倒引当金の繰入限度額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②退職給付引当金

役職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、当医療法人は、前々会計年度末日の負債額が 200 億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

③返還免除引当金

奨学金及び助産師貸付金の返還免除による損失に備えるため、返還免除の実績率により返還免除見込額を計上しております。

4 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

5 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

①補助金等の会計処理方法

運営補助金は当該補助対象の費用と対応させるため、事業収益に計上しております。

②ファイナンス・リース取引の会計処理方法

リース取引開始日が、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満である会計年度の所有権移転外ファイナンス・リース取引については賃貸借処理によっております。

6 担保に供されている資産に関する事項

【担保に供している資産】

科 目	金額（千円）
土地	389,837
建物	578,482
診療報酬債権	548,728
合 計	1,517,048

【担保に係る債務】

科 目	金額（千円）
短期借入金	900,000
長期借入金（1年以内返済予定を含む）	4,017,895
合 計	4,917,895

7 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業 内容	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	山下守	医師	当法人理事長	個人事業等の運営資金	434,747	立替金	475,906

8 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

① 賃貸借処理をしたファイナンス・リース取引に係るリース料総額及び未経過リース料の当期末残高

科目	リース料総額(千円)	未経過リース料(千円)
医療用・その他の器械備品	695,717 千円	370,592 千円
車両及び船舶	483,222 千円	313,733 千円
ソフトウェア	356,199 千円	162,167 千円

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の主な発生原因別内訳

繰延税金資産

未払事業税及び特別法人事業税	4,734 千円
繰延資産償却超過額	6,006 千円
退職給付引当金	37,081 千円
返還免除引当金	616 千円
一括償却資産償却超過額	7,366 千円
減価償却費超過額	189,059 千円
合計	244,864 千円
繰延税金負債	
建物	14,778 千円
合計	14,778 千円
繰延税金資産の純額	230,085 千円

③ 有形固定資産の減価償却累計額の総額

有形固定資産の減価償却累計額の総額は 5,431,576 千円であります。

④ 流動資産の貸倒引当金の総額

流動資産の貸倒引当金の総額は 6,841 千円であります。

⑤ 固定資産の返還免除引当金の総額

固定資産の返還免除引当金の総額は 2,000 千円であります。

様式第三号

法人名 医療法人葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

※医療法人整理番号	1800
-----------	------

財 産 目 録
(令和 6年 6月 30日現在)

1. 資 産 額	6,804,081 千円
2. 負 債 額	6,289,688 千円
3. 純 資 産 額	514,392 千円

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	2,217,988
B 固 定 資 産	4,586,092
C 資 産 合 計 (A + B)	6,804,081
D 負 債 合 計	6,289,688
E 純 資 産 (C - D)	514,392

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式第四号

法人名 医療法人葵鐘会

所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

※医療法人整理番号	1800
-----------	------

純 資 産 変 動 計 算 書
(自 令和 5年 7月 1日 至 令和 6年 6月 30日)

(単位:千円)

	基金 (又は出資金)	積立金			評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
		代替基金	繰越利益積立金	積立金合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	評価・換算 差額等合計	
令和 5年 7月 1日 残高	71,900		437,758	437,758				509,659
会計年度中の変動額								
当期純利益			4,733	4,733				4,733
・ ・ ・ ・ ・								
・ ・ ・ ・ ・								
会計年度中の変動額合計			4,733	4,733				4,733
令和 6年 6月 30日 残高	71,900		442,491	442,491				514,392

1. 純資産の変動事由及び金額の掲載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
2. 評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて評価・換算差額等の合計額を、前会計年度末残高、会計年度中の変動額及び会計年度末残高に区分して記載することが
こ
とができる。この場合には、科目ごとのそれぞれの金額を注記すること。
3. 積立金及び純資産の各合計欄の記載は省略することができる。

様式第五号

法人名 医療法人葵鐘会

※医療法人整理番号

1800

所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却 累計額又は償却 累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差 引 当期末残高 (千円)
有形 固定 資産	建物	7,195,555	21,045	—	7,216,600	4,340,820	231,884	2,875,779
	構築物	368,094	605	—	368,699	302,327	14,563	66,371
	医療用機械備 品	263,855	25,492	1,347	287,999	226,659	28,423	61,339
	その他器械備 品	589,083	3,165	—	592,249	549,153	28,807	43,095
	車両及び船舶	13,589	—	—	13,589	13,589	69	0
	土地	483,646	—	—	483,646	—	—	483,646
	計	8,913,824	50,307	1,347	8,962,784	5,432,550	303,748	3,530,234
無形 固定 資産	ソフトウェア	74,845	440	—	75,285	65,305	4,138	9,979
	その他の無形 固定資産	9,270	—	—	9,270	1,777	117	7,493
	計	84,115	440	—	84,555	67,083	4,255	17,472
その 他 の 資 産	長期貸付金	577,230	303,697	253,187	627,740	—	—	627,740
	長期前払費用	106,919	3,950	85,461	25,407	17,505	3,697	7,902
	繰延税金資産	234,601	—	4,516	230,085	—	—	230,085
	その他の固定 資産	169,748	2,000	65	171,683	—	—	171,683
	計	1,088,500	309,647	343,230	1,054,917	17,505	3,697	1,037,411

1. 有形固定資産、無形固定資産及びその他の資産について、貸借対照表に掲げられている科目の区分により記載すること。
2. 「前期末残高」、「当期増加額」、「当期減少額」及び「当期末残高」の欄は、当該資産の取得原価によって記載すること。
3. 当期末残高から減価償却累計額又は償却累計額を控除した残高を、「差引当期末残高」の欄に記載すること。
4. 合併、贈与、災害による廃棄、滅失等の特殊な事由で増加若しくは減少があった場合又は同一の種類のものについて資産の総額の1%を超える額の増加は、その事由を欄外に記載すること。若しくは減少があった場合（ただし、建設仮勘定の減少のうち各資産科目への振替によるものは除く。）
5. 特別の法律の規定により資産の再評価が行われた場合その他特別の事由により取得原価の修正が行われた場合には、当該再評価差額等については、「当期増加額」又は「当期減少額」の欄に内書（括弧書）として記載し、その増減の事由を欄外に記載すること。
6. 有形固定資産又は無形固定資産の金額が資産の総額の1%以下である場合又は有形固定資産及び無形固定資産の当該会計年度におけるそれぞれの増加額及び減少額がいずれも当該会計年度末における有形固定資産又は無形固定資産の総額の5%以下である場合には、有形固定資産又は無形固定資産に係る記載中「前期末残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の欄の記載を省略することができる。なお、記載を省略した場合には、その旨注記すること。

様式第六号

法人名 医療法人葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

※医療法人整理番号	1800
-----------	------

引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	4,828	2,530	432	85	6,841
返還免除引当金	4,000		1,000	1,000	2,000
退職給付引当金	109,346	11,050			120,396

(注) 当期減少額(その他)欄に記載の減少額はそれぞれ次の理由によるものであります。

貸倒引当金・・・・・・・・・・ 未収金の回収による取崩額

返還免除引当金・・・・・・・・ 対象外による取崩額

1. 前期末及び当期末貸借対照表に計上されている引当金について、設定目的ごとの科目の区分により記載すること。
2. 「当期減少額」の欄のうち「目的使用」の欄には、各引当金の設定目的である支出又は事実の発生があったことによる取崩額を記載すること。
3. 「当期減少額」の欄のうち「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、減少の理由を注記すること。

様式第七号

法人名 医療法人葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

※医療法人整理番号	1800
-----------	------

借 入 金 等 明 細 表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	900,000	900,000	1.15	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	300,000	300,000	1.1	
1年以内に返済予定の 長期借入金	21,048	21,048	1.975	
1年以内に返済予定の 長期借入金	—	99,960	1.19	
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	3,299,880	2,999,880	1.1	令和7年6月
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	259,680	238,632	1.975	令和18年10月
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	—	358,375	1.19	令和11年1月
その他の有利子負債	239,661	145,728		
合 計	5,020,269	5,063,623	—	—

1. 短期借入金、長期借入金（貸借対照表において流動負債として掲げられているものを含む。以下同じ。）及び金利の負担を伴うその他の負債（以下「その他の有利子負債」という。）について記載すること。
2. 重要な借入金で無利息又は特別の条件による利率が約定されているものがある場合には、その内容を欄外に記載すること。
3. 「その他の有利子負債」の欄は、その種類ごとにその内容を示したうえで記載すること。
4. 「平均利率」の欄には、加重平均利率を記載すること。
5. 長期借入金（1年以内に返済予定のものを除く。）及びその他の有利子負債については、貸借対照表日後5年内における1年ごとの返済予定額の総額を注記すること。

様式第八号

法人名 医療法人葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

※医療法人整理番号	1800
-----------	------

有 価 証 券 明 細 表

【債 券】

銘 柄	券 面 総 額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
計		

【その他】

種 類 及 び 銘 柄	口 数 等	貸借対照表価額 (千円)
計		

1. 貸借対照表の流動資産及びその他の資産に計上されている有価証券について記載すること。
2. 流動資産に計上した有価証券とその他の資産に計上した有価証券を区分し、さらに満期保有目的の債券及びその他有価証券に区分して記載すること。
3. 銘柄別による有価証券の貸借対照表価額が医療法人の純資産額の1%以下である場合には、当該有価証券に関する記載を省略することができる。
4. 「その他」の欄には有価証券の種類（金融商品取引法第2条第1項各号に掲げる種類をいう。）に区分して記載すること。

様式第九の一号

法人名 医療法人葵鐘会

※医療法人整理番号

1800

所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本 来 業 務 事 業 費 用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事 業 費	本 部 費	計			
材料費	974,754	—	974,754	—	—	974,754
給与費	5,383,101	680,871	6,063,972	—	—	6,063,972
委託費	750,512	327	750,840	—	—	750,840
経費	979,161	163,238	1,142,400	—	—	1,142,400
売上原価	8,087,529	844,437	8,931,967	—	—	8,931,967
その他の事業費用	747,577	618,672	1,366,249	—	—	1,366,249
計	8,835,107	1,463,110	10,298,217	—	—	10,298,217

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. 中区分科目には、それぞれ細区分を設け、売上原価については、商品（又は製品）期首たな卸高、当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）、商品（又は製品）期末たな卸高を、材料費、給与費、委託費、経費及びその他の費用については、その内訳を示す費目を記載する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。

様式第九の二号

法人名 医療法人葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

※医療法人整理番号	1800
-----------	------

事業費用明細表
(自 令和 5年 7月 1日 至 令和 6年 6月 30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 材料費		
：	：	
：	×××	×××
II 給与費		
給料	×××	
：	×××	
：	：	
：	×××	×××
III 委託費		
検査委託費	×××	
：	×××	
：	：	
：	×××	×××
IV 経費		
減価償却費	×××	
：	×××	
：	：	
：	×××	×××
V 売上原価		
商品（又は製品）期首たな卸高	×××	
当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）	×××	
商品（又は製品）期末たな卸高	×××	×××
VI その他の事業費用		
研修費	×××	
：	×××	
：	：	
	×××	×××
事業費用計		×××

- 1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
- 2. I からVIの中区分科目は、省略する様式によることもできる。
- 3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。